

はじめに

「学生の皆さんに充実した学生生活を送ってほしい」。早稲田大学の全教職員の願いはこれに尽きます。学生生活充実を効果的に支援するためには、皆さんの生活実態を知らねばなりません。そこで今年度も「学生生活調査」を実施し、それをこの『2004年度第23回学生生活調査報告書』にまとめました。

調査に協力していただいた皆さんは、学部学生および大学院学生から無作為抽出した1万人。幸いなことに、この調査の趣旨が十分に理解され、今年度は昨年度より高い回答率（33.2%）を得ることができました。皆さんに、心よりお礼を申し上げます。

「早大生ってどんなヒト？」早大生なら誰でも持つ疑問でしょう。本報告書は、早大生の全体像を追うことを主眼にしているため、個々の学部・研究科あるいは留学生・社会人学生の実態については、特徴的な傾向のみを分析しています。けれども、皆さんの経済状態、勉強と遊び、喜びと悩み等々、本報告書には早大生の偽らざる姿が浮き彫りにされており、皆さんの疑問のほとんどに解答が与えられるはずです。

本報告書は興味深く読んでいただける統計資料になることを目指しました。これは決して楽な作業ではありません。調査結果と全体の取りまとめには、社会科学部 葛山康典先生にご協力いただきました。各章の分析と執筆者は、教育学部 松本芳之（1章）、文学部 大藪泰（2章）、商学部 坂野慎哉（3章）、理工学部 大野高裕（4章）、人間科学部 齋藤美穂（5章）の各先生です。末筆ではありますが、先生方に心より感謝いたします。

2004年10月21日

学生部長 岩井方男